

# 夏秋トマト3Sシステムの特徴と概要

3S : Small amount Separated cultivate-system for Solanaceae  
(ナス科果菜類隔離型少量培地耕)



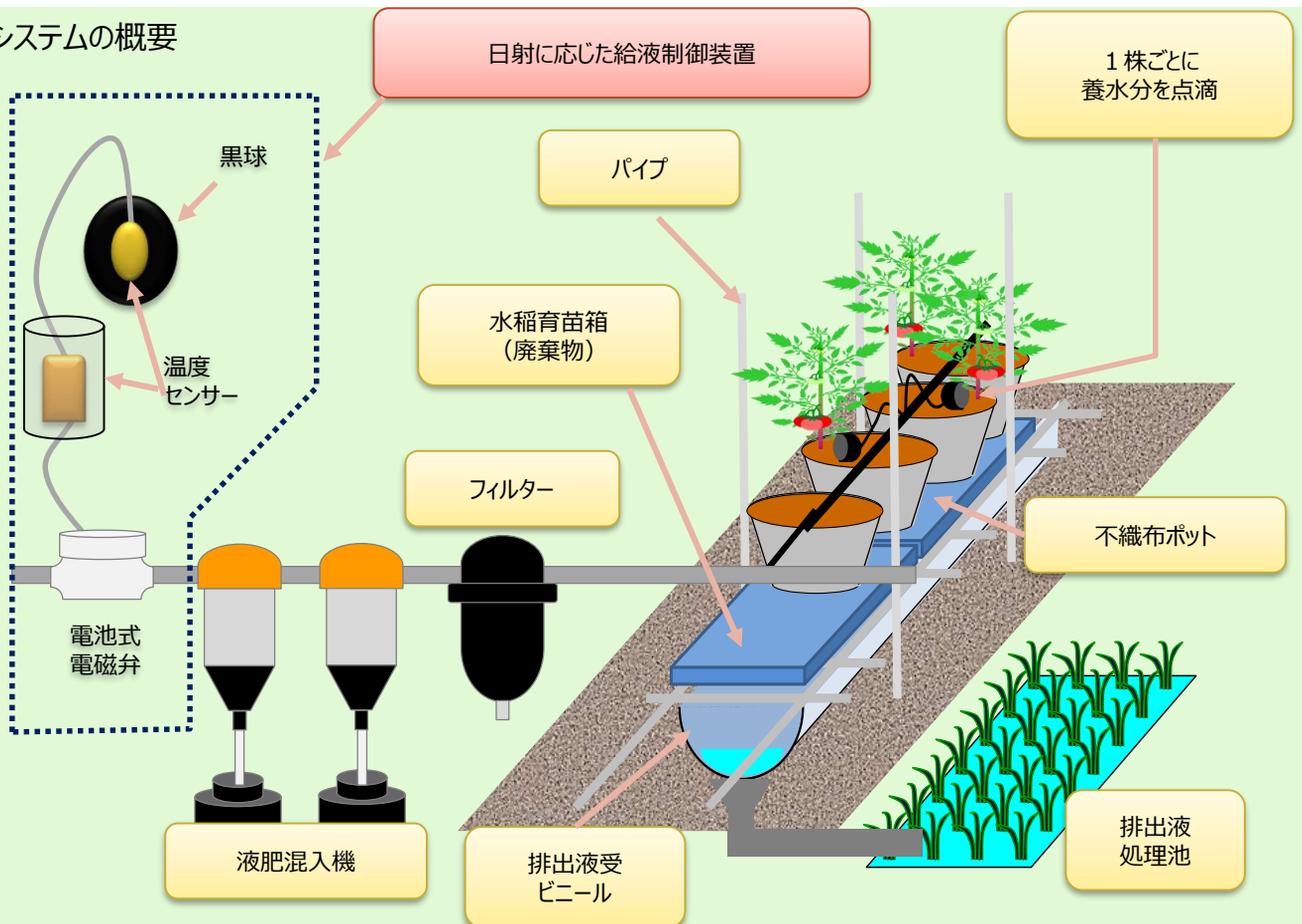
## 特徴

- 不織布ポットに1株ずつ定植し、土壌から隔離して栽培することにより、土壌病害の感染と拡大のリスクを低減
- 養液管理により草姿をスリム化することで、密植栽培が可能  
※10aあたり約3,300株（従来の栽培方法では約2,000株）
- 簡易な制御装置で、天候に応じた養水分管理が可能  
※オリジナル自動給液システム
- 農家が手作りできる簡易な構造と安価な資材で低コストで導入が可能  
※10アール当たり約200万円（ハウス本体及び設置費含まず）
- トマトでは従来の土耕栽培と比較して **地域平均の2倍以上の収穫量**



収穫初期の様子

## システムの概要



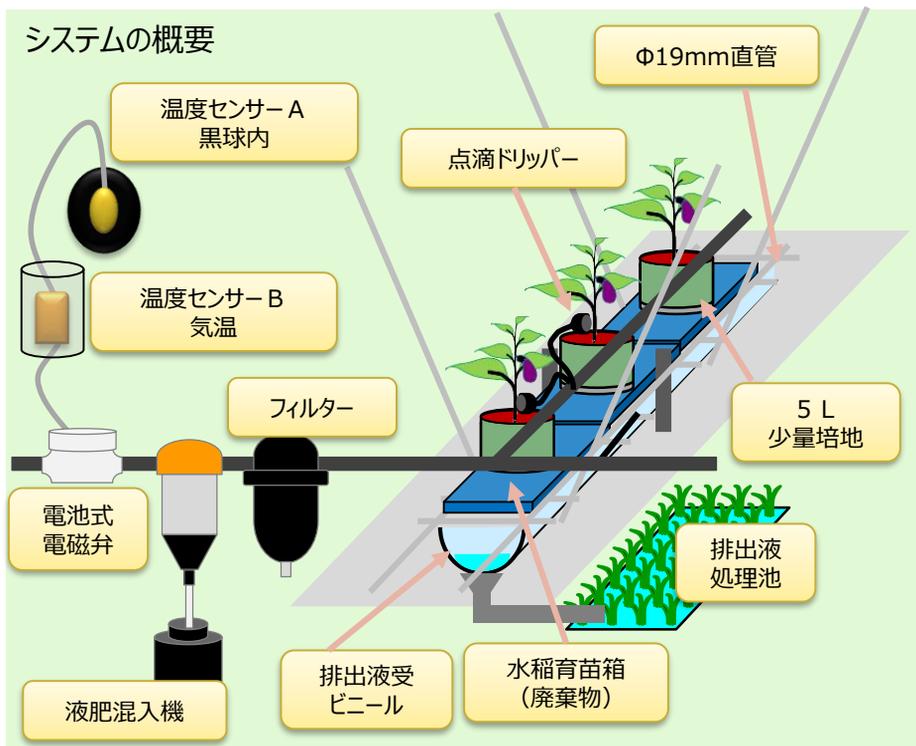
# 夏秋なす3Sシステムの特徴と概要

**3S** : Small amount Separated cultivate-system for Solanaceae  
(ナス科果菜類隔離型少量培地耕)



## 特徴

- 専用ポットに1株ずつ定植し、土壌から隔離して栽培することにより、土壌病害の感染と拡大のリスクを低減、同一圃場で連作が可能
- 培地量5L/株の少量培地耕で、畝立てや定植作業を省力化
- 温度差を利用した日照対応型給液制御と点滴ドリッパーによる正確な給液で、施肥かん水管理を省力化
- 農家が手作りできる簡易な構造と安価な資材で低コストで導入が可能  
※10アール当たり約100万円（設置費含まず）



土壌病害汚染圃場での作付(現地試験圃)



収穫最盛期の様子